

(公財) 青山音楽財団助成公演

Keizo Takahashi & Ikuko Ando

Duo Concert

~All Schumann Program~

高橋 啓三・安藤 郁子 デュオ コンサート オール シューマン プログラム
バスバリトン メゾソプラノ



シューマン

愛の庭 作品 34-1
私はあなたの樹 作品 101-3
女の愛と生涯 作品 42
詩人の恋 作品 48



Robert Schumann

Liedesgarten op.34-1
Ich bin dein Baum op.101-3
Frauenliebe und Leben op.42
Dichterliebe op.48

2020年 6月28日 (日)

14:00 開演 [13:30 開場]

全席自由 4,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

京都・阪急嵐山線
上桂駅下車徒歩5分



ピアノ：島内亜津子

チケット販売・問い合わせ ©青山音楽記念館 075-393-0011
©ガオーチ・アソシエーツ(安藤) 090-6517-3292

高橋 啓三 (Keizo Takahashi : バスバリトン)

東京芸術大学卒業。第44回日本音楽コンクール第2位。82年第10回、89年第17回ジロー・オペラ賞を受賞。在学中に藤原歌劇団公演ブッチーニ「トスカ」(指揮:外山雄三)のアンジェロッチェ役でオペラデビュー。その後二期会を中心に藤原歌劇団、NHKイタリア歌劇団ほか多くのオペラ公演に出演。豊かな声量を誇る美声のバス・カンタービレとしてオペラに欠くことのできない存在である。主な役には「フィガロの結婚」のタイトルロールをはじめ、「魔笛」ザラストロ、「愛の妙薬」ドゥルカマーラ、「タンホイザー」ヘルマン、「夕鶴」惣ど、等がある。二期会創立40周年記念公演「神々の黄昏」ではハーゲンを演じ、その凄味のある歌唱と演技は一際生彩を放ち、舞台上緊張感を与えるに充分であった」と称賛された。宗教曲の分野でも幅広いレパートリーを持ち、N響をはじめ主要オーケストラとの共演も多い。オペラ歌手としての活躍が顕著だが、近年はシューベルト、シューマン、ブラームス等、ドイツリート演奏機会も多い。東京音楽大学名誉教授。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。啓声会会長。

安藤 郁子 (Ikuko Ando : メゾ・ソプラノ)

京都教育大学、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。青木美稚子、高橋啓三の各氏に師事。オペラや宗教曲のソリスト、コンサート等幅広い演奏活動を行っている。2012年にはオーストリア・ウィーン楽友協会ホールに於いて、モーツァルトおよびM.ハイドンの2つのレクイエムのソリストとして現地のオーケストラと共演し好評を博す。近年は精力的に取り組んでいるドイツ歌曲の演奏機会が増えているが、2013年(東京・埼玉・京都)、2015年(台湾・東京)、2016年(京都・台湾)、2018年(東京)と定期的に開催している自主企画のデュオコンサートでは各国のオペラ・歌曲を織り混ぜ聴き応えあるプログラムを披露している。指導者としても活動の場を広げており、きめの細かいヴォイストレーニングには定評がある。啓声会会員。

島内 亜津子 (Atsuko Shimanouchi : ピアニスト)

都立芸術高校を経て桐朋学園大学卒業。
1995年米国チェビ・サマーミュージックキャンプ参加。1996年ルーマニアにてルーマニア国立ディヌ・リパッティ交響楽団とF.リストのピアノ協奏曲第1番を共演。2005年ニューヨーク国際ピアノフェスティバルのマスタークラスに参加し研鑽を積む。1996、1999、2005、2008、2019年の5回のリサイタルの他、ソリスト、伴奏者として多数のコンサートに出演し好評を博す。
CD録音は、昨年、相内勝雪氏のオリジナル作品集アルバム「暁光」にてピアノソナタ第2番を収録。保育者・教師のための教本CD「シング・ウォーク・ダンス」、バリトン歌手中西勝之氏のCD「カタリ・カタリ」がある。
現在、東京都市大学、日本児童教育専門学校非常勤講師、日本声楽家協会ピアニスト。
これまで、故中山靖子、米元えり、杉本安子、浜中康子、砂原悟、V.ローゼンバウムの各氏に師事。

青山音楽記念館 バロックザール

(京都市西京区松尾大利町9-1)

阪急電車嵐山線 上桂駅下車 徒歩5分

